

## 京都府の住宅を取り巻く状況

(WITHコロナ・POSTコロナ社会への対応、地球環境・エネルギー問題の視点から)

## I WITHコロナ・POSTコロナ社会への対応

- 1 新型コロナウイルス感染症の拡大状況  
(京都府)
- 2 新型コロナ拡大による  
住宅に求める条件の変化(三大都市圏)
- 3 テレワーク実施率(都道府県別)
- 4 テレワークに際する不満(首都圏)
- 5 健康等に関する意識の変化(全国)
- 6 今後の住まいに取り入れたい要素(全国)

## II 地球環境・エネルギー問題

- 7 長期優良住宅建築等計画の認定戸数  
(京都府)
- 8 新築住宅(300㎡以上)における  
省エネルギー基準適合率の推移(京都府)
- 9 省エネルギー設備等の導入状況  
(市町村別)
- 10 住宅の断熱性に対する満足度  
(京都府・全国)
- 11 住宅のエネルギー消費性能  
(光熱費の節約)に対する満足度  
(京都府・全国)

# I WITHコロナ・POSTコロナ 社会への対応

---

# 1 新型コロナウイルス感染症の拡大状況（京都府）

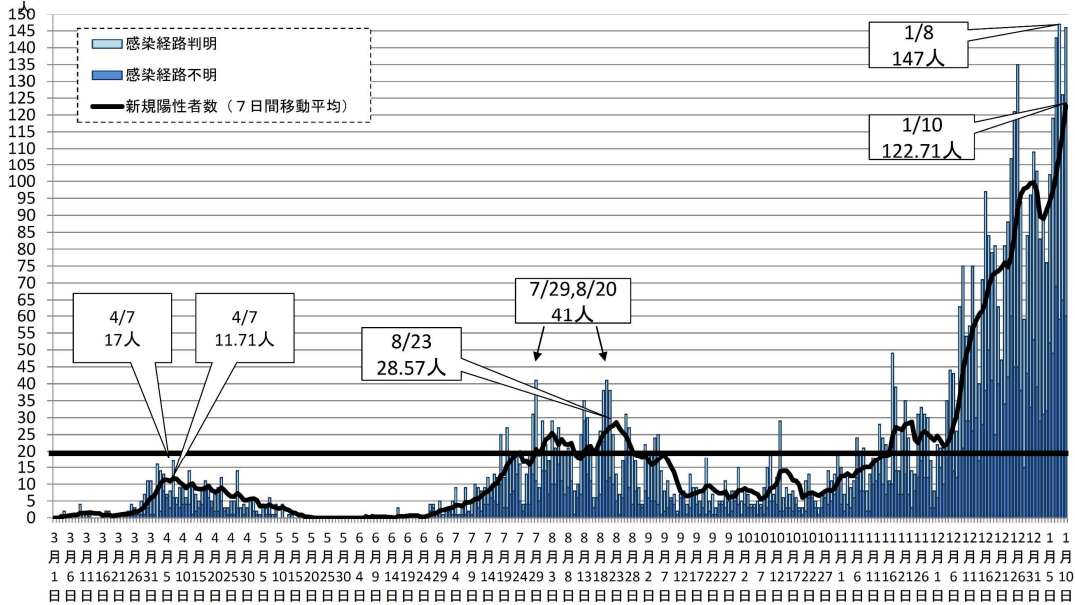
- ・2021年1月10日時点で、京都府内の累計患者数は5,937人
- ・新規感染者数は、第2波の後の均衡状態の後、再び増勢を強めている。

令和3年1月10日現在

## 1日当たりの患者発生数

累積患者数	5,937
（うち退院又は勧告解除済み）	4,569

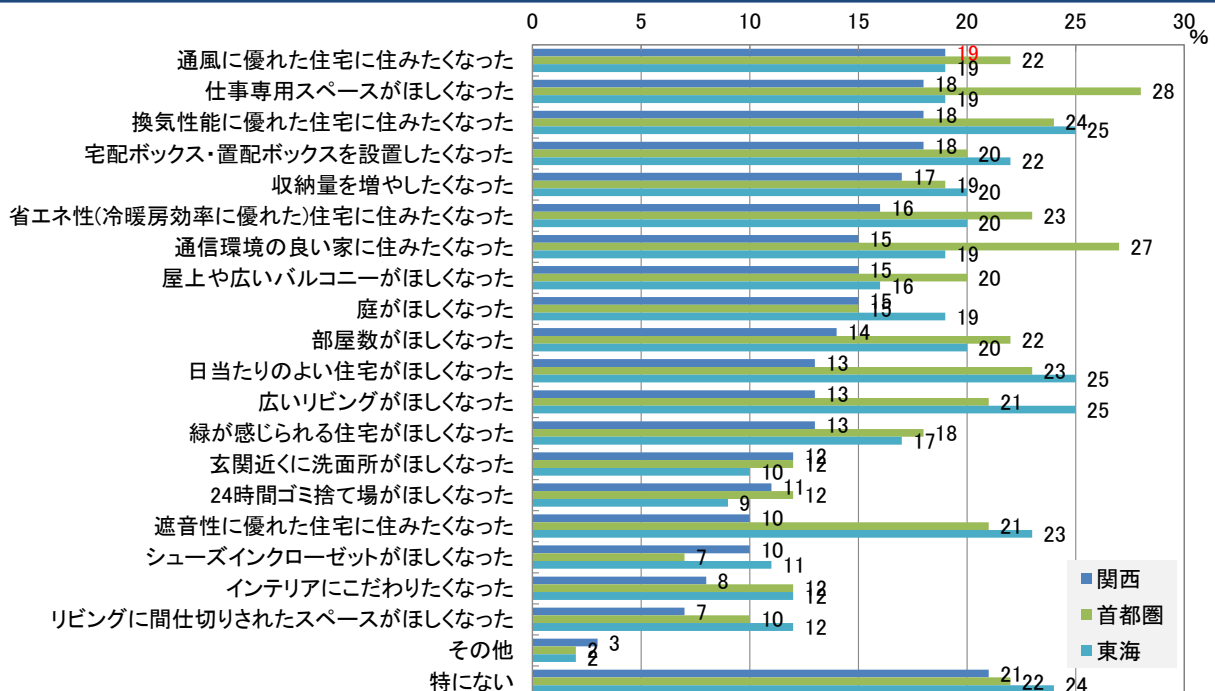
	入院	施設療養	自宅療養	調整中	死亡
府内陽性判明者	256	111	216	711	74
府外陽性判明者	2	1	25	22	0
合計	258	112	241	733	74



資料：第31回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議（令和3年1月）

# 2 新型コロナ拡大による住宅に求める条件の変化（三大都市圏）

- ・関西圏では「通風に優れた住宅に住みたくなった」が19%で最多
- ・「仕事専用スペース」「換気性能」「宅配ボックス」「収納量」等の項目が上位に該当

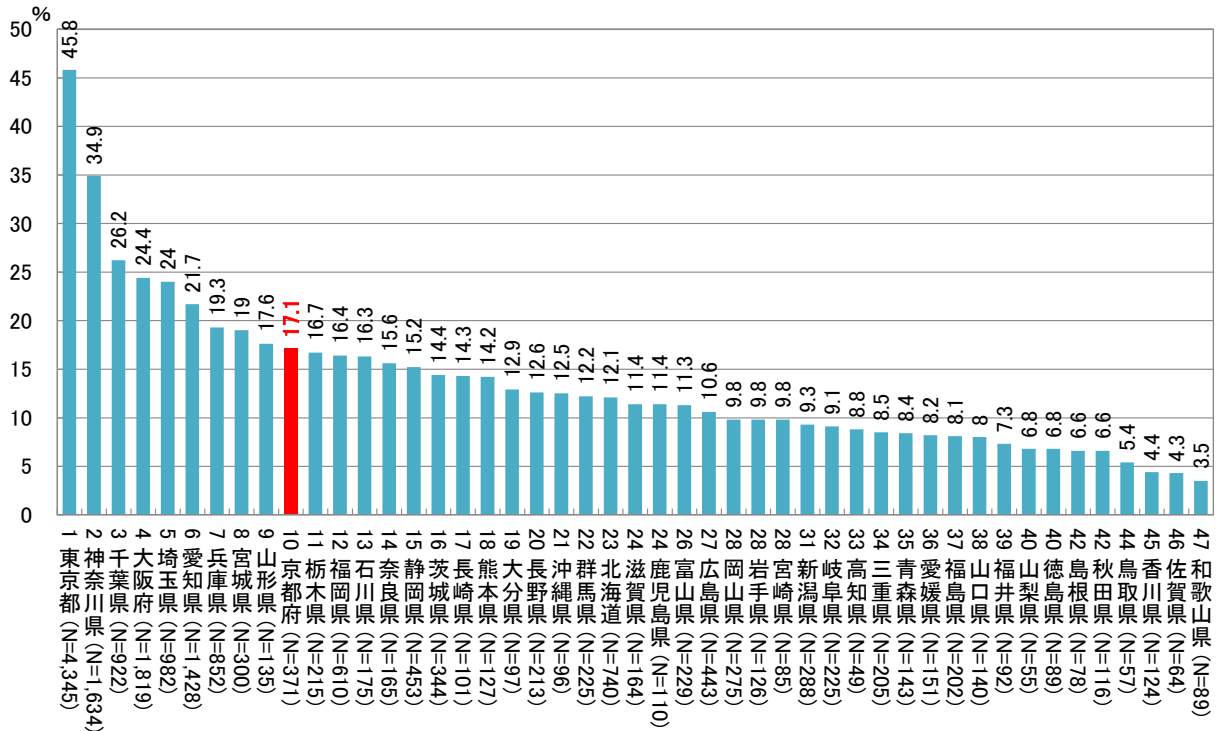


(注1) 調査実施時期：2020年8～9月 (注2) 実サンプル数：975、ウェイトバック後：261.5万  
 (注2) 首都圏：東京都/千葉県/埼玉県/神奈川県、関西：大阪府/京都府/奈良県/兵庫県/和歌山県/滋賀県、東海：愛知県/岐阜県/三重県  
 (注3) 緊急事態宣言解除後(2020年5月下旬)以降に住宅の購入・建築、リフォームについて検討した者が対象(賃貸は除く。)

資料：第2回 コロナ禍を受けた「住宅購入・建築検討者」調査(リクルート住まいカンパニー)

### 3 テレワーク実施率（都道府県別）

- ・都道府県別のテレワーク実施率（2020年11月時点）を比較すると、関東圏が上位を占める。
- ・京都府は10位の17.1%であり、近畿圏内では大阪府や兵庫県に比べて実施率が低い。



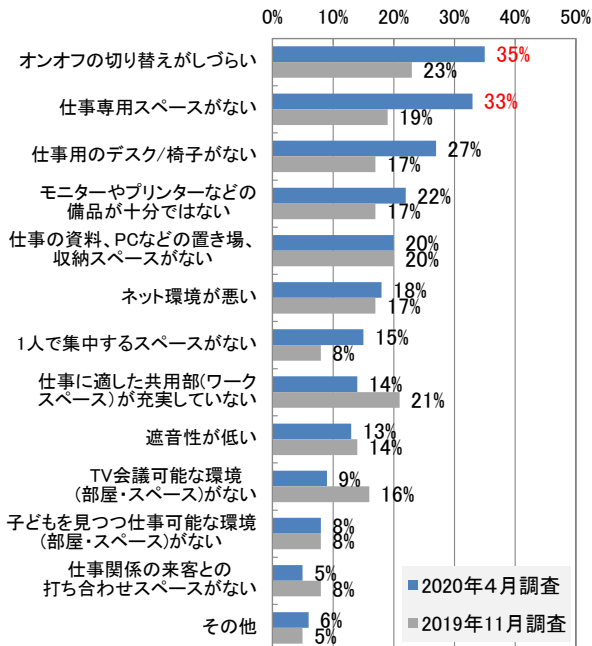
(注) サンプル数は性別・年代の補正のためのウェイトバック後の数値であり、実サンプル数とは異なる。

資料：第四回・新型コロナウイルス対策によるテレワークへの影響に関する緊急調査（パーソル総合研究所）

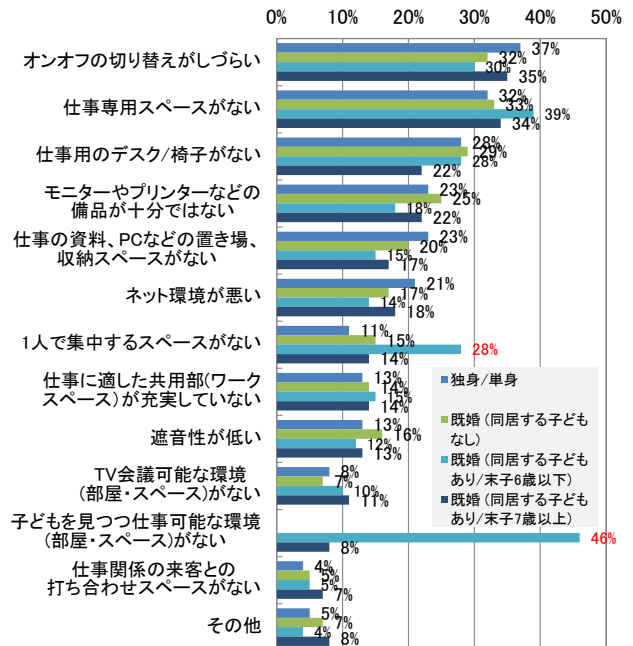
### 4 テレワークに際する不満（調査地域：関東1都8県）

- ・「オンオフの切り替えがしづらい」が35%「仕事専用スペースがない」が33%と不満が高い。
- ・6歳以下の子どもと同居する既婚者では、「子供を見つつ仕事可能な環境（部屋・スペース）がない」「1人で集中するスペースがない」を挙げる割合が他の家族構成に比べて高い。

#### ● 調査時期による比較（2020年4月と2019年11月）



#### ● 家族構成による比較（2020年4月調査）



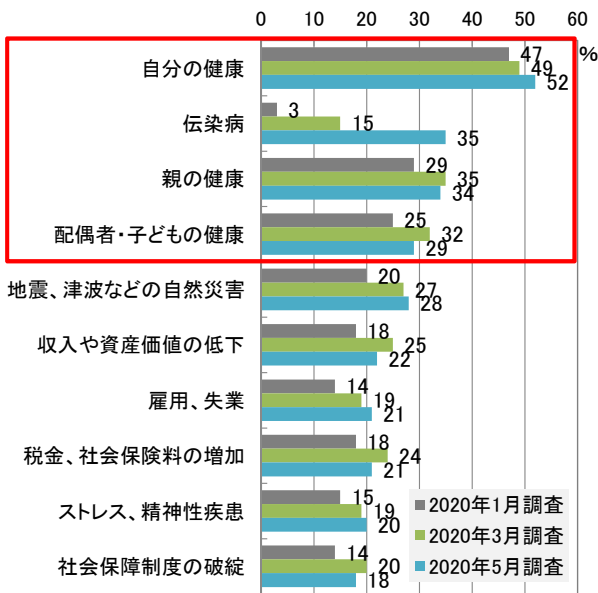
(注1) 全仕事量の内、テレワークで実施している割合が10%以上の回答者を集計 (注2) 複数回答 (注3) 各数値は小数点第一位での四捨五入値

資料：「新型コロナ禍を受けたテレワーク×住まいの意識・実態」調査（リクルート住まいカンパニー）

## 5 健康等に関する意識の変化（全国）

- ・自分や家族の健康に対する不安が継続して高く、感染症に対する不安が大きく上昇
- ・換気に対する関心が高くなったと79.2%が回答、自宅で換気ができていると74.5%が回答しており、コロナ禍での換気に対する関心の高さが表れている。

### ● 新型コロナウイルス感染拡大前後における不安や悩み（複数回答可）

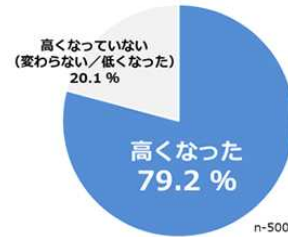


(注) 有効回答数: 3,098人(3月)、3,945人(5月)

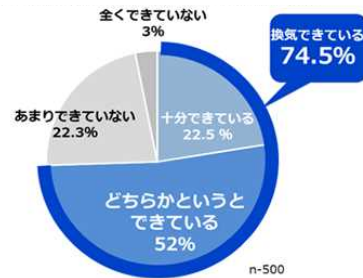
資料: 新型コロナウイルス感染拡大による生活への影響調査(2020年3月、5月)、日本人の日常生活に関する調査(2020年1月)(野村総合研究所)

### ● 換気に対する関心

Q. 直近3箇月のあなたの事を教えてください。  
以前と比べて、換気に対するあなたの関心は高くなりましたか。



Q. あなたの家では、換気ができていると思いますか。

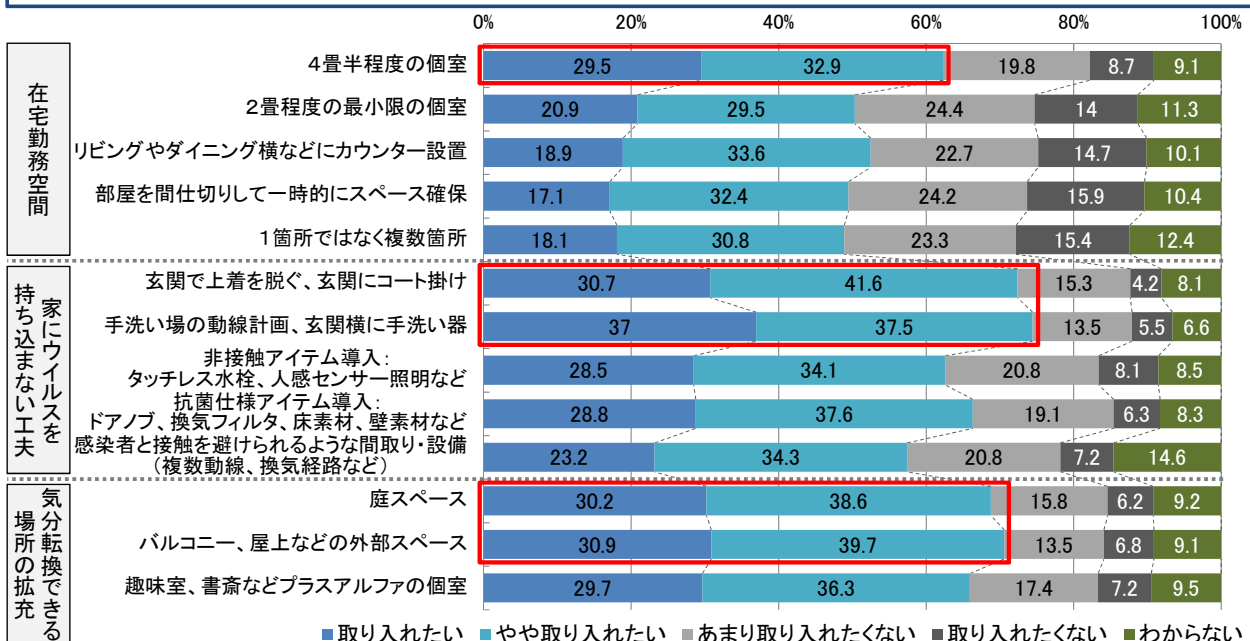


(注) 調査時期: 2020年4月

資料: コロナ禍における「換気に対する実態調査」(ダイキン工業株式会社)

## 6 今後の住まいに取り入れたい要素（全国）

- ・在宅勤務空間は「4畳半程度の個室」の意向が最も高い。
- ・ウイルス対策は「手洗い場の動線計画、玄関横に手洗い器」「玄関で上着を脱ぐ、玄関にコート掛け」等、個別の設備よりも動線や外部からの流入を防ぐ計画への意向が高い。
- ・気分転換できる場所は「庭」「バルコニー、屋上」等、外部空間の充実への意向が高い。



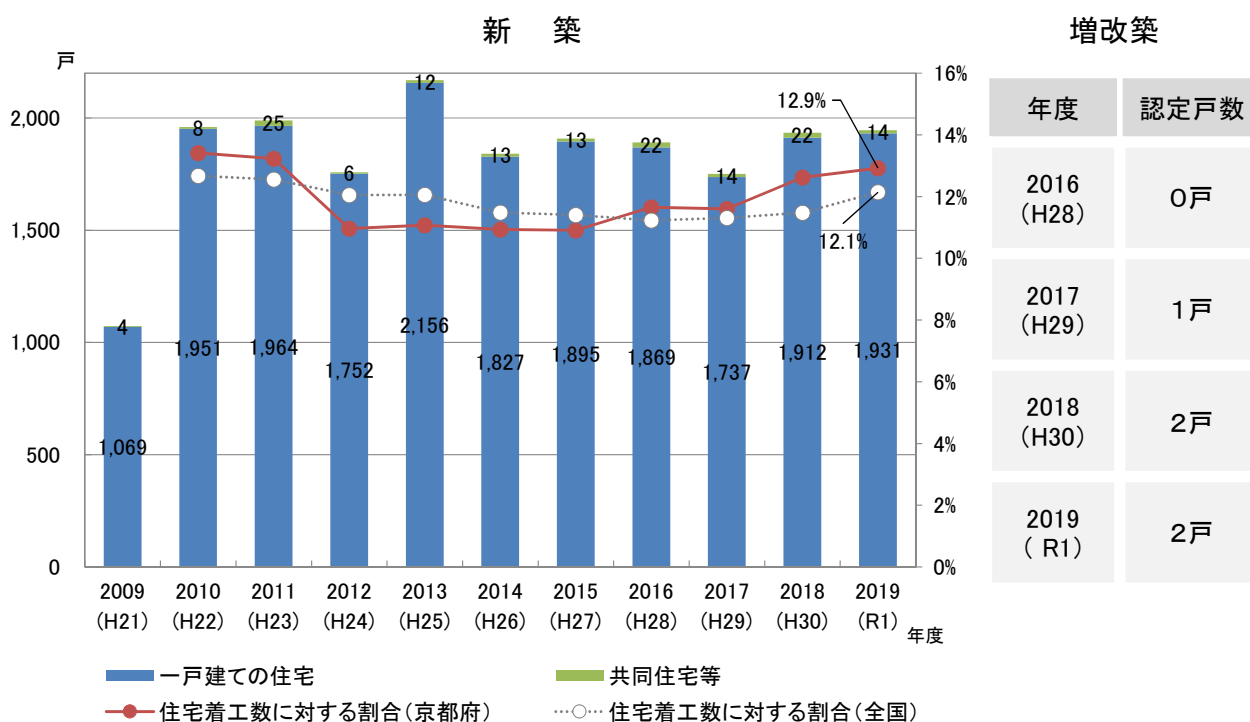
(注1) 調査時期: 2020年6月 (注2) 調査対象: 既婚者、世帯年収400万円以上、新型コロナウイルスの影響で在宅勤務した者  
(注3) サンプル数: 824名(戸建居住618名、マンション居住206名)

資料: 新型コロナウイルス影響下における住まいの意識調査レポート(ミサワホーム総合研究所)

## Ⅱ 地球環境・エネルギー問題

### 7 長期優良住宅建築等計画の認定戸数（京都府）

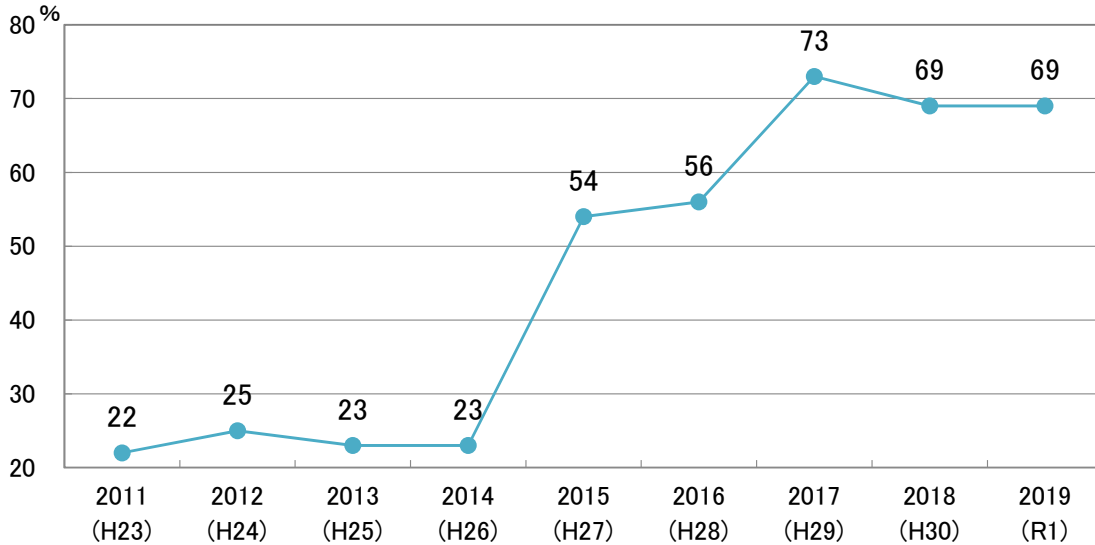
- ・年間の認定戸数は、新築1,945戸、増改築2戸（令和元年度）
- ・新築住宅着工戸数に占める認定住宅の割合は12.9%（令和元年度）であり、2016（H28）年以降は全国平均を上回っている。



資料：国土交通省集計、住宅着工統計(国土交通省)

## 8 新築住宅（300㎡以上）における省エネルギー基準適合率の推移（京都府）

H25省エネ基準の完全施行（2015年4月）以降、新築住宅における省エネ基準適合率は上昇するも、適合率70%前後で高止まりとなっている。



2010年4月～  
省エネ措置の届出  
対象拡大(300㎡以上)

2013年10月～  
H25省エネ基準  
(住宅)の施行

2015年4月～  
H25省エネ基準  
の完全施行

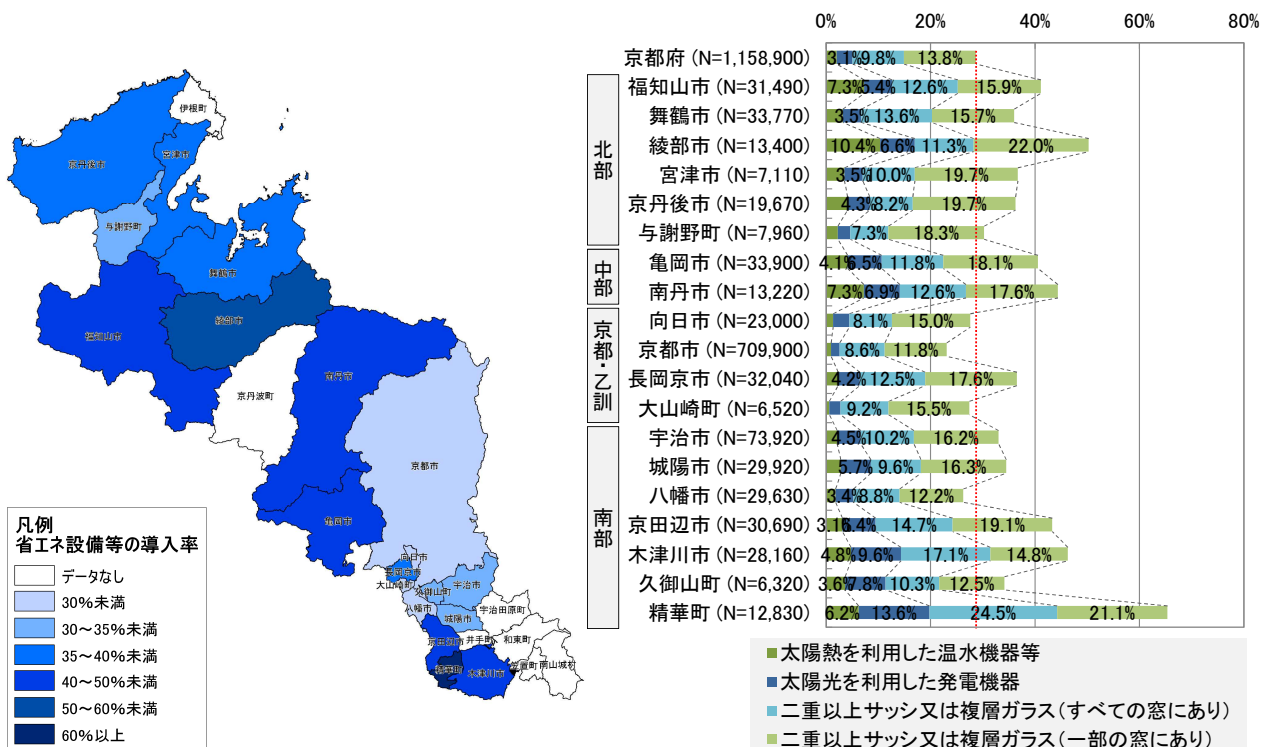
2017年4月～  
非住宅(2,000㎡以上)  
基準適合義務化

2020年4月～  
建築士から建築主へ  
省エネ性能説明  
義務化(300㎡未満)

資料：京都府

## 9 省エネルギー設備等の導入状況（市町村別）

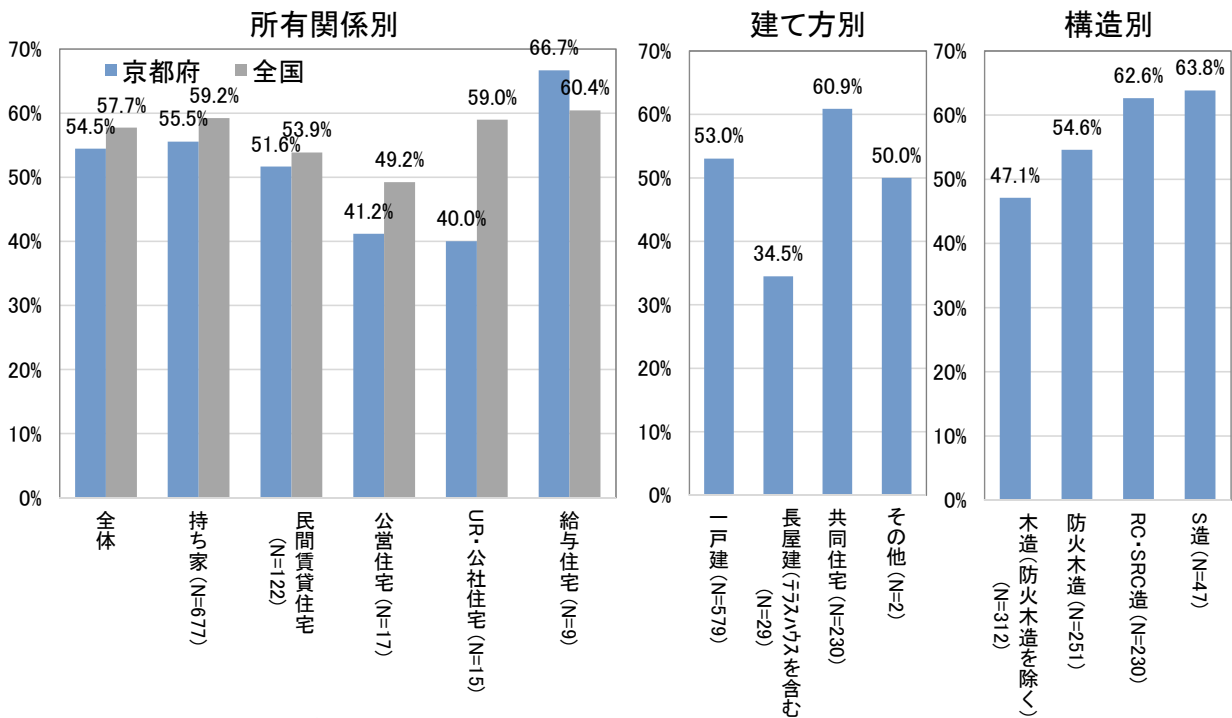
省エネルギー設備等を導入している住宅の割合は精華町において最も高くなっている一方、京都市、八幡市、向日市、大山崎町では府平均を下回っている。



資料：H30住宅・土地統計調査（総務省）

# 10 住宅の断熱性に対する満足度（京都府・全国）

- ・京都府の「断熱性」に対する満足度は、全国平均を下回っている。
- ・所有関係別では「公営住宅」や「UR・公社住宅」、建て方別では「長屋建」、構造別では「木造（防火木造を除く）」において満足度が低くなっている。

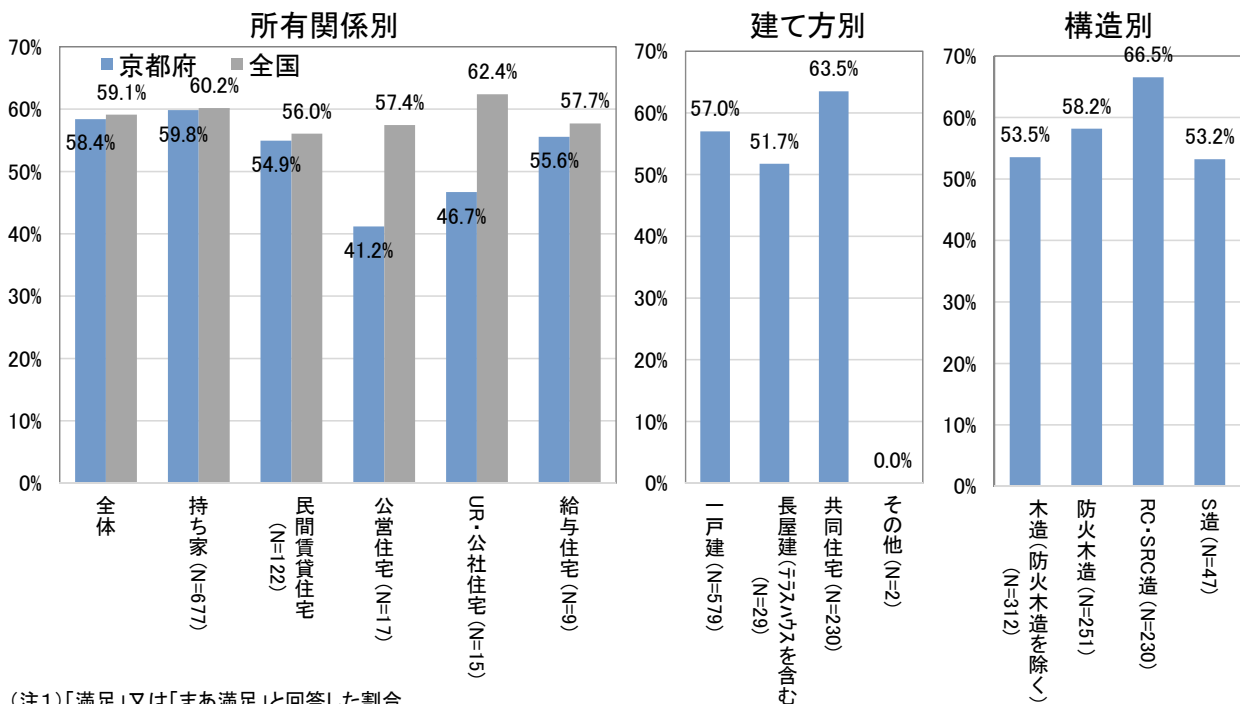


(注1)「満足」又は「まあ満足」と回答した割合  
 (注2)建て方別・構造別の全国集計は公表値なし

資料：H30住生活総合調査(国土交通省)

# 11 住宅のエネルギー消費性能（光熱費の節約）に対する満足度（京都府・全国）

- ・京都府の「エネルギー消費性能（光熱費の節約）」に対する満足度は、全国平均をわずかに下回っている。
- ・所有関係別では「公営住宅」や「UR・公社住宅」、建て方別では「長屋建」、構造別では「木造（防火木造を除く）」や「S造」において満足度が低くなっている。



(注1)「満足」又は「まあ満足」と回答した割合  
 (注2)建て方別・構造別の全国集計は公表値なし

資料：H30住生活総合調査(国土交通省)

